

## 企画サービス部門活動紹介

シビルNPO 連携プラットフォーム個人正会員

龍井 俊憲

担当常務理事が替わり、新年度がスタートしました。

前年度のサービス提供部門の活動を引き継ぎながら、新たに装いを替え、企画機能を強化することを意図し、改変した企画サービス部門として活動を開始することとなりました。しかし部門長が未だ多用なため、部門活動参加ができない状態が続いています。

活動計画は下記のようなものです。

### ①定款上の担当事業内容

- (1)活動・支援（連携／協働）
- (2)情報・交流（活動紹介／組織間協力）
- (3)調査・提案/提言（主張／提案・提言）
- (4)行事・研修（研修／セミナー）

### ②部門の活動組織

期首において、これまでの教育研修委員会、NPO ファイナンス研究会、インフラメンテ事業化研究会等を以下の組織を再編し、活動を軌道に乗せていきます。

#### 【1】調査・研修委員会

従前は部門内での調整をベースに調査項目や研修内容等を検討、実施してきましたが、今後は連絡調整会議での意見交換に基づきその成果が他部門の活動に寄与することを重要視して、その部門との協働を前提として活動を展開していきます。

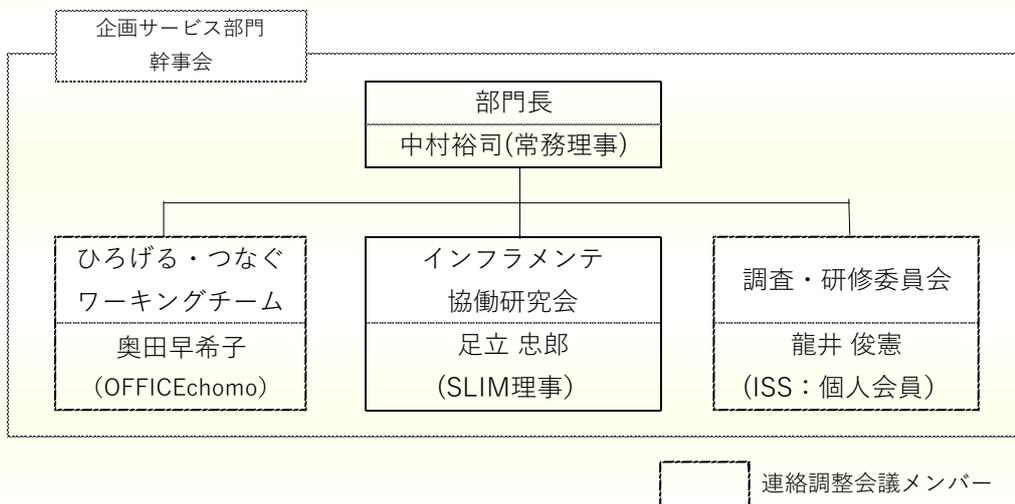
#### 【2】インフラメンテ研究会

協働推進部門の活動計画に記載のように、その自治体インフラメンテ研究会がこれに関連する活動の中心となりますが、別組織として独立するインフラメンテ国民会議「市民参画フォーラム」活動の会計を含む事務局的な役割をもって支援、協働することにします。

#### 【3】ひろげる・つなぐワーキンググループ

「土木と市民社会をつなぐ」という視点で、ホームページなどの広報ツールのありかたを、土木専門以外のメンバーを含めたグループワーキング（月1回 6人 学士会館）で検討し、具体化をはかっていきます。





## (2) 平成 30 年度部門活動計画

上述の定款に応じた事業内容ごとの4つの活動計画は下表のとおりです。

本表下部に注記しているように、本部門が上記3つの活動組織で担当する事業内容はゴシックで示す事項で、具体的内容として明朝体で記された事項については連絡調整会議で合意された、事務局を含む5つの組織で分担します。

H30年度 企画サービス部門活動計画				
部門内組織	定款活動項目	活動項目	具体的内容	連携部署
【1】 調査・研修委員会	①活動支援	会員NPO活動支援	法人会員NPO法人の情報・事業活動・組織運営に関わる情報共有および活動支援【1】	—
	②情報・交流	学会等関連組織との連携活動	①土木学会 ②その他関連組織 (日本NPO学会、日本NPOセンター等)【1】	土木学会連携
	③調査・提案/提言	自治体支援	行政の協働事業や補助制度等の調査と新規分野への挑戦	協働推進 事業化推進
	④行事・研修	セミナー・シンポジウム等開催	他組織との共催を含め、時折々の課題に対応した行事開催	連調会議
【2】 インフラメンテ研究会	③調査・提案/提言	自治体インフラメンテ研究会活動支援	インフラメンテ国民会議 市民参画フォーラムWG活動支援	協働推進
	④行事・研修	協働コーディネーター研修	自治体/市民組織を含む関連組織にに対するファシリテーター・コーディネーター研修	協働推進
【3】 ひろげる・つなぐWT	②情報・交流	「土木と市民をつなぐ」交流活動	ひろげる・つなぐワーキングチーム活動	—
【共通】 連絡調整会議	①活動支援	組織強化	会員・サポーターの拡充 人材・財務強化	連調会議
	①活動支援	各種データベース化	連絡調整会議「データベースタスクフォース(仮称)」と連携	連調会議
	②情報・交流	CNCP通信	毎月掲載記事/アーカイブ化/アンケート調査/紙面改革等継続	連調会議

準備期間を経て数か月活動を開始していますが、調査研修委員会の具体的な研究会立上げは現在、協議中です。インフラメンテ協働研究会は市民参画フォーラムWG活動支援、ファシリテーター養成講座開催を推進しています。また、ひろげつつなぐワーキングチームは、今のところ具体的な活動に進めていませんが、山本代表を交え、鋭意今後の活動を進めていきます。